

新年のごあいさつ



神埼市長 松本 茂幸

明けましておめでとございます。
ます。

市民の皆様にはご家族おそろいで、輝かしい新たな希望に満ち満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年3月20日に誕生いたしました神埼市は、神埼・千代田・脊振の三町村が、単に合併することを目的とするのではなく、それぞれの地域の将来の発展を願い、町村合併という手段をもって「神埼市」を誕生させました。住民は、ともに神埼市民として一体となり協調と融和を基本に「自然と歴史と人が輝く未来都市 神埼市」を創造

していくこと、ともに未来に向かって歩いていくことを誓い合ったわけであります。

城原川の源である脊振山頂から肥沃な土地が広がる平野部、そして城原川流域の末端である有明海までを行政区域とする神埼市は、豊かな自然環境の中、それぞれの地域に伝わる歴史・伝統文化の融合、また市内外の人々との交流など、それぞれの地域の特色を活かした地域の活性化、また互いに高め合い、発展が大きく望まれる素材豊かな「市」であります。

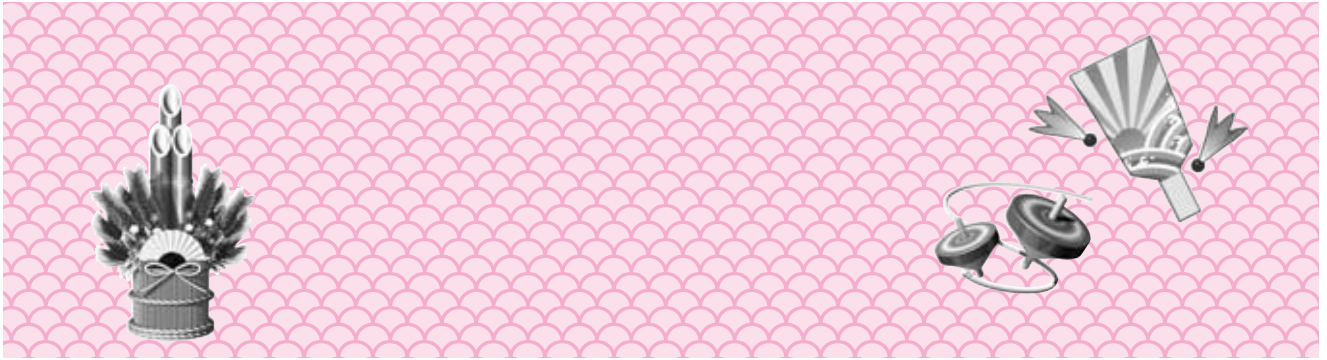
近年、国が進めております地方分権と三位一体の改革及び国の財政再建改革は、県、市町村へのしわ寄せと国民に負担を押し付け、市民生活に対しても厳しいものとなっています。神埼市、市民の皆様においても例外ではありません。神埼市は3万4千人という小さい規模の市ではありますが、若者がいきいきと働き、にぎやかに集い、安心

して子育てができ、子どもたちが風土・歴史を生かした教育の中でびのびと育つ、さらには高齢者が明るく元気で生きがいを持って生活できるような神埼市を目指してまいります。

私は、自らの「市」自らの「地域」は、自らが守り、自らが創造し、そして得られた喜びは多くの方々と共有する地域協働を基本として、広く市民の皆様とともに安全安心な「市」づくりを進める決意を新たにいたしております。それとともに、今後の神埼市の平穏と輝かしい未来、そして、市民の皆様のご多幸を願っております。

さあ、皆さん活気ある元気な神埼市へ向かって、共に第一歩を踏み出しましょう。そして、これから始まる神埼市の礎を共に築いて行こうではありませんか。

「自然と歴史と人が輝く未来都市」を目指して。



神崎市議会議長

藤瀬 光正

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

神崎市議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢社会の到来、情報化・国際化の進展など変化が著しく、地方にとつては厳しい状況が続いております。

昨年を振り返りますと、国際情勢、国内情勢とも激動の年でありました。中でも、景気については「いざなぎ景気」を超えたとの報道もありますが、地方での実感はまだまだ薄いように

思われます。

さて、地方分権の名の下に市町村合併という大きな社会のうねりの中で、旧脊振村、神崎町、千代田町が昨年3月20日に合併し、人口3万4千人の神崎市が誕生いたしました。合併後、早9ヶ月余りが過ぎましたが、市の一体感はまだまだ十分に醸成されているとは思えません。文化面、教育面を初めとして、一日でも早く旧町村間の交流が活発に行われるように望むものです。

議会におきましては、昨年の4月23日に実施された設置選挙により、26名の新しい議員が誕生いたしました。正副議長の選任、各委員会を組織し、活発な議会活動に取り組んできております。地域に開かれた議会を目指して、議会だよりを中心に皆様へ情報を提供していきたいと思っております。

本年は、神崎市誕生から2年目となる年であり、更なる飛躍が期待される年であります。合併後の市の発展は市民全体が望

むものであり、旧三町村がそれぞれの歴史、文化を始めとする地域の特色を生かした、均衡ある発展が望まれます。新市が大きく躍進することは、私たちの夢でもありますし、また責務でもあります。議会としても、市執行部と互いの知恵を出し合いながら、住民の高度化・多様化したニーズに的確に応え、地方自治の役割である住民の福祉の向上のために、積極的に取り組んでいきたいと心を新たにしているところです。

新市の総合計画の策定を初めとして、合併後の課題は山積しておりますが、新市まちづくり計画のスローガンであります「自然と歴史と人が輝く未来都市」の実現に一步でも、二歩でも近づくように努めていきたいと考えています。これまで以上のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



神埼市教育長

實松 信子

神埼市が誕生して、初めての新年を迎え、心からお慶びを申し上げます。

さて、昨今の教育界は、社会の目まぐるしい動きのなか、様々な面において大きく変化を迫られていることは、既に皆様御承知のとおりでございます。

教育行政は、幼児から高齢者にいたる市民の皆様の教育的ニーズに応えていくことが使命であると捉えております。

昨年の、神埼市教育行政を振り返ってみますと、ただただ三つの町のこれまでの教育実績を継承し、更には相互に連携を図ることで、神埼市の教育文化の広がりを求めることに全精力を傾注したような気がいたしております。この間、皆様の絶大な御支援により、成果をおさめたことに対し深く感謝いたします。

たします。

今年、学校教育においては、昨年に引き続き、教育の場における「不易」の見直しと徹底を図り、変化に流されない教育を実践し、児童生徒の心身ともに健全な成長を求めていきます。

社会教育においては、神埼市が提唱している「協働」による「地域教育力」の強化について訴え、地域構成員の皆様が文化面・スポーツ面・教育面の充実に努めてまいりたいと考えております。

昨年の広がりから、内容のある深まりを求めて参りたいと考えております。

市民の皆様、御理解と御支援を切にお願いいたします。結びになりますが、皆様のますますの御多幸をお祈りし、ご挨拶といたします。

総務部長 吉村 清嗣

明けましておめでとございます。

「神埼市」は、三町村が合併し昨年3月誕生しましたが、合併協議が短期間であったことから、課題なども見えてきました。

昨年、その一つとして、利用しやすい組織機構づくりを目指し、神埼市庁舎の本庁と神埼総合支所を統合し、組織を変更しました。

2年目を迎える本年は、市民の皆様が安全・安心を確保するため、昨年に引き続き地域防災計画・国民保護計画の策定に取り組みます。

また、将来にわたって継続していける行財政の確立を目指し、効率・効果的な行政運営に努め、市民の皆様が合併して良かったと感じてもらえるよう、総務部職員一同全力で努めて参ります。

本年もよろしくお祈りいたします。

企画部長 中野 均

明けまして、おめでとうございます。本年もどうぞ

よろしくお祈りいたします。三町村合併して、早や9ヶ月が経過し、神埼市としての課題が山積みしており、その改善が緊急の課題であります。

特に、行財政改革につきましては、委員会を設置して、事務改善・財政改革について審議を頂いております。また、総合計画につきましても、市政の方向性を示す重要な計画であり、早期に計画策定を行う必要があり、策定へ向けて努力しております。

また、新たな雇用機会の拡大を図るために企業誘致の推進に取り組み、活力ある街づくりに取り組んでいきたいと思っております。

市民部長 實松 常夫

明けましておめでとございます。

昨年10月30日付けで組織・機構の見直しにより、本庁と神埼総合支所が統合され、市民部長を拝命致しました。

住民の皆様と最も密接な関係にある部署に就かせていただくこととなり、保健・医療・福祉との連携を図りながら、赤ちゃんから

お年寄りの方まですべての市民が健康で安心して生活できる住みよい福祉のまちづくりをめざして、一層努力したいと考えております。

本年も昨年同様ご指導くださるようお願い致します。

産業部長 牟田 信行

明けましておめでとございます。

社会を取り巻く情勢が大きく変化する中で、将来にわたり神埼市の農林水産業・商工業を発展させていくためには、国際化も視野に入れ、消費者を重視した事業の取組みを促進しなければなりません。

厚い信頼を得られる高品質で安全・安心な農産物等の生産を拡大すると共に、事業者が意欲をもって取り組める事業の実現に向け、農業、食品産業、観光業等が連携し、神埼市の資源を活かした生産・加工・販売等の取り組みを農業者・農業団体等と共に、本年も職員一丸となって推進していきます。

健康・医療・福祉との連携を図りながら、赤ちゃんから

建設部長 野口 一義

明けましておめでとございませす。

昨年3月に旧神埼・千代田・脊振の三町村が合併して誕生した「神埼市」の新しい年がスタートいたしました。

今年は、統一の年であると思ひます。そして、真に神埼市に必要な事業を見つけていく年でもあります。

ますます厳しくなる財政事情の中、千代田保育園建設、南北道路の整備、下水道事業の推進など生活基盤構築のための課題は山積してはいますが、皆様の付託に心えるべく、建設部職員一同、事業の推進にまい進いたしますので、本年もよろしく願ひいたします。

教育部長 島 勝義

明けましておめでとございませす。

昨年は、子どもが犠牲となる悲惨な報道が相次ぎ、重苦しい一年でありました。また、三町村合併のスタートの年でありましたが、事務局の地盤体制が遅れ、様々な行事において、市民の皆様にご迷惑をおかけしたことを存じます。

今年、神埼市が全国高校総体のハンドボールと登山の会場地でもあり、教育の年間計画をしつかりと立て、全国に誇れる明るい話

題づくりに努めたい、と思つております。

本年もよろしく願ひ申し上げます。

議事務局長 志岐 正博

明けましておめでとございませす。本年もどうぞよろしく願ひいたします。

議会は、地方公共団体の意思決定機関であり、また、行財政運営の監視機関としての重要な役割を持ち、個々の議員が見識を深め、議会全体が市民の福祉の向上のために活動することが何よりも大切なことであり、そのための環境づくりが議事務局には求められます。議事運営上の改善点があれば議会に対して提案もしていき、市民に開かれた議会を目指して、議事録のホームページ掲載など新たな事業にも取り組んでいきたいと考えております。

千代田総合支所長 垣永 正記

明けましておめでとございませす。

さて、昨年はご存知のように旧三町村が合併し、同時に総合支所が設置されました。私事、当所において昨年は、はたして市民生活に関連した行政サービスが十分提供できたかどうかと振り返っています。

新春を迎えるにあたっては、総合支所の持つ役割を再認識し、合併して悔いを残さないまちづくりを進めていく所存であります。

今後とも、お気軽に総合支所をご利用ください。

脊振総合支所長 真島 久光

市民の皆様には、新年をご家族おそろいでお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、合併一年目ということで総合支所としての役割を果たせるか不安がありました。市民の皆様のご理解とご協力をいただきましたことに厚く感謝いたしております。

今年も、皆様に愛される市民の窓口として環境づくりを目指して総合支所としての行政サービスに努める所存でありますので、市民の皆様のご指導の程よろしく願ひいたします。

年詞交歓会の案内について

神埼市および神埼市議会では、1月4日に「新年祝賀年詞交歓会」を開催します。昨年末では三町村でそれぞれ多くの方々のご参加をいただいた開催しておりましたが、本年は会場の関係により、各種団体などの代表者などへのご案内とさせていただきます。また、アルコー類は出さないこととしております。ご理解をお願い申し上げます。

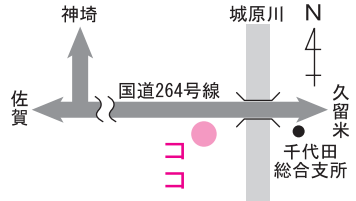
12月22日 新鮮・安全な農作物が勢ぞろい!!

農産物直売所「菱の里ちよだ」がオープンしました

地産地消、自給率の向上をめざし、新鮮な商品を豊富に取りそろえ、「安全・安心」を消費者に提供します。地場産の採りたて新鮮な野菜から山の幸まで豊富に準備しています。

皆さんのお越しをお待ちしています!!

- ◎場所 千代田町直鳥(上直鳥)
国道264号線沿い、千代田総合支所から西へ約200メートル
- ◎営業日 毎週金曜・土曜・日曜日 午前9時から午後4時まで
- ◎問い合わせ先 神埼市役所 農林水産課 農林水産係 ☎0952 44 2731
農産物直売所「菱の里ちよだ」 ☎0952 44 6092



農産物直売所に、農産物などを出品される会員の募集も随時行っています。詳しくは、神埼市役所農林水産課へお問い合わせください。